

第70回 春季東北 高校野球

第3日

第70回春季東北地区
高校野球大会は第3日
の10日、盛岡市のきた
ぎんホールパークで準
決勝2試合を行った。
県勢は第2代表の八学
光星が明桜（秋田第1
代表）と対戦。先制を
許したものの藤原の3
点本塁打などで善美に
点を重ね、8―5で勝
利。4大会ぶりの決勝
進出を決めた。大会最
終日の11日は同ホール
パークで決勝を行い、
八学光星が優勝を懸け
て仙台育英（宮城第1
代表）と対戦する。
（練方好華）

光星 4点差逆転

明桜破り 決勝進出



【明桜 八学光星】4回裏、八学光星が死一、二塁。藤原が左翼席へ3点本塁打を打ち、3―4と点差を縮める。捕手・吉川 きたきんホールパーク

仙台育英と きょうう 激突

4回、流れ変えた藤原の3ラン

序盤から守備が乱れ、4点を追う勢に立たされた八学光星。「もう一回、引き締め直そう！」と諦めることなく声をかけ合い続けたチームは逆転に成功。4大会ぶりの決勝への切符をつかみ取った。

悪い流れを変えたかった。四回裏の死一、二塁で打席に入った藤原。先制点を取られてから、ピッチャーも野手も動きが硬くなっていった。自分が1点でもいいから取りたかった。真ん中に甘く入ったスライターを強く振り抜くと、打球は風に乗り左翼席へ。打球は風に乗って流れが変わったと仲井監督に言わしめた藤原は「県大会で全然打てず、体の軸を硬くした。一お前ならや交せ、相手を反撃の余地を潰してやる」と意気込みを述べた。試合は、仲井監督の指示通り、投手陣は1イニングに2ストライクを取ってからは絶対負けぬという強い気持ちで、6イニングの同点、両チームは1―1と互角に戦った。最終回は三者凡退で締め、跳びはねながら笑顔でガッツポーズする八学光星の主戦・岡本

4番手登板 岡本3回ピシヤリ



最終回を三者凡退で締め、跳びはねながら笑顔でガッツポーズする八学光星の主戦・岡本

【評】八学光星は初回から失策や先発右肩の暴投などで4失点し、相手に主導権を握られた。四回、藤原の3点本塁打で点を縮める。五回には砂子由の2点適時打で逆転に成功。直後に1点を奪った。

【評】八学光星は初回から失策や先発右肩の暴投などで4失点し、相手に主導権を握られた。四回、藤原の3点本塁打で点を縮める。五回には砂子由の2点適時打で逆転に成功。直後に1点を奪った。

【評】八学光星は初回から失策や先発右肩の暴投などで4失点し、相手に主導権を握られた。四回、藤原の3点本塁打で点を縮める。五回には砂子由の2点適時打で逆転に成功。直後に1点を奪った。